

北海道の印刷

PRINTING INDUSTRY IN HOKKAIDO

第 677 号

[Website] <http://www.print.or.jp>

[E-mail] info@print.or.jp

10

2012

平成24年

10月10日発行

INDEX

印刷燦燦	3
2012 全日本印刷文化典北海道大会	4~11
全印工連組合功労者顕彰受賞者	11
全印工連優良従業員表彰受賞者	11
胆管がん発症問題に関連する印刷業界の労働安全衛生への取り組み	12
印刷事業所における労働安全衛生対策セミナー	13
北海道最低賃金改定	14
業界のうごき	14

[表紙] 知床半島のエゾシカ (斜里郡斜里町: 10月)

北海道印刷工業組合

〒064-0808 札幌市中央区南8条西6丁目 TEL.011-562-6070/FAX.011-562-6072

印刷 燦 燦

印刷業に携わって30年

私がこの印刷の世界に飛び込んだのは、32年前になりますが、当時の版下作業はタイプライターと写植によるものが主流で、記念誌やパンフレット・チラシなど、版下作業に入る前の割付やラフをおこす作業が重要で、イメージをまとめるのに苦労しました。さらに修正が入ると、写植を打ち直しすることが日常茶飯事でした。私どものような小さな会社ですと、お客様の要望をどれだけ聞き入れることができるかが、次の受注に大きく影響します。

この20年ほど前にワープロがでて、その後パソコンレベルで組版ができるようになり、記念誌などの割付、修正が格段に楽になりました。大手は組版専用機を導入し本格的に電算化に取り組んでいましたが、そこまでの設備は当社ではかなわず、とりあえず組版ができるだけというものでした。その後、フィルムセッターが入り、版下作業が無くなりました。その頃は設備投資をして作業の効率化を計れば、それによって利益もそれなりに伴ってくるので、設備投資はしやすい時代でした。カラー物の製版にかかる経費を大幅に削減できたからです。その後CTPを導入し、印刷機も4色機を導入する事ができました。

こうした時代の流れに十分とは言えない中にも、設備投資をしてこられたのは、お客様の支えは勿論の事ですが、そのタイミングでいろいろとアドバイスをいただいた関係企業のご協力にほかなりません。

業界の技術の進歩に逆行するかのようには印刷物の需要が減少、それにより価格競争が激しさを増しておりますが、このような時だからこそ、付加価値の高い物作りに心がける必要があります。本当の意味でお客様が求めているものを提供できる体制作りに心がけていきたいと考えております。

印刷業界にとってこの30年は劇的に変化を求められました。これからは紙を媒体にしてきたものの一部が、電子媒体にシフトして行くものと思いますが、決してそれが全てではないと思います。紙の良さ、紙だからできることをもっと掘り下げて、電子化と共存し続けることが大切です。

業界として横の連携を取りながら、意識の向上を図り社会に貢献していきたいと考えます。

北海道印刷工業組合理事・苫小牧支部長 山田 新一
北光印刷株式会社代表取締役社長

2012全日本印刷文化典北海道大会 記念式典開催される

「北の大地から始まる、ソリューション・プロバイダーへの道」

2012全日本印刷文化典北海道大会記念式典が、「北の大地から始まる、ソリューション・プロバイダーへの道」をテーマに、9月21日午後2時から札幌パークホテル・パークホールで多数の来賓と全国各地から600人の組合員が参加して開催された。



歓迎の挨拶を述べる
岡部康彦実行委員長

記念式典は、国歌斉唱の後、開催工組を代表して、岡部康彦実行委員長（北印工組理事長）が「ようこそ北の大地北海道にお越しいただきました。北海道印刷工業組合177社を挙げて歓迎します。2日前までは29～30度の暑さが札幌地方を襲って

いたが、皆様方に少しでも涼しい札幌をと、天気の様相が粋な計らいをしてくれたようだ。清々しい空気の美味しい初秋を迎えた札幌地方である。現在、北海道の人口は548万人、そのうち192万人、約35%が札幌に住んでいる。北海道の木はエゾ松、北海道の花はハマナス、北海道の鳥はタンチョウと指定されている。このくらい知ってもらおうと北海道に行ってきたぞと、それぞれの地元に戻っても報告できるのではないかと考えている。私たちの印刷業界はデフレ経済の渦中での需要の減退、価格競争の激化による収益の低下、またスマートフォンなどの出現などこれまでに経験したことのない大きな変革への対応が迫られている。全印工連では業態変革推進プラン2008計画を掲げ、2010年には業態変革実践プランをキックオフされた。そして岐阜大会においては業態変革をもう一步進めたソリューション・プロバイダーが発表された。そんな意味で私どもは2012全日本印刷文化典北海道大会のテーマを“北の大地から始まる、ソリューション・プロバイダーへの道”とさせていただいた。フロンティア精神の溢れる北の大地で全国の印刷産業界がここに会し、大いに語り合い、情報交換をするとともに親睦を図っていただき、楽しい思い出に残る文化



典になることを心より期待している。ホスト工組実行委員80名、張り切っている。終わりに、本文化典の開催にあたり特段の支援・協力をいただいた関係機関の皆様、そして関連業界の皆様にご心より感謝申し上げます」と歓迎の挨拶を述べた。

つづいて、島村博之全印工連会長から、「札幌での大会開催は1956年、68年、79年、97年に続き5回目となる。今回は、“北の大地から始まる、ソリューション・プロバイダーへの道”をテーマとして開催する運びとなった。北海道大会と言えば北方領土返還という横断幕を壇上に掲げて、参加者全員が拳を突き上げた勢いのよい写真を思い浮かべる。今、尖閣諸島、竹島と日本を取り巻く領土問題は拡大を続け、深刻極まりない状況に陥っている。全印工連も再びあの頃のエネルギッシュな時代に立ち戻り、国家という土俵で議論ができる集団になれば良いと思う。全印工連の組合員数は毎年継続的に減少している。これからは正に組合の真価が問われる時代に入ってきたということに疑いの余地はない。どうしたら今の組合員が今以上に組合に魅力を感じることができなのか、どのようにして組合員が新しい印刷産業の中で勝ち抜いていけるのか、そしてさらにその姿に共感してさ



式辞を述べる
島村博之全印工連会長

さまざまな業界の企業から我々の仲間に入りたいと言ってもらえるようになるのか、その探求を続けることが47都道府県工組、そして連合会の使命だと考えている。今年度の全印工連執行部は全員このミッションを念頭に置き担当する委員会を遂行している。今回の大会ではその中でも新しく設立したCSR委員会の取り組み状況を皆様に発表させてもらう。たとえ今日飲み過ぎて、明日二日酔いになっても、たとえ折角の北海道だから朝から観光したいと思っても、それぞれの地元に戻ってから経営に役立つ情報をしっかりと組合として発信できるように明日の全印工連フォーラムには万難を配して満を持して、参加いただくよう会長として願います。本大会の記念式典において長年にわたり印刷業界の発展に多大なる尽力を賜った皆様に感謝の意を表すべく各種の表彰が行われるが、表彰者の皆様の功績と努力に対し、衷心より深い敬意と感謝を申し上げる。本文化典の開催と運営にあたり、大変な準備をお願いした北海道印刷工業組合の組合員の皆様および関係各位に対して心よりお礼申し上げます」と式辞を述べた。

次に、来賓紹介が行われ、3人の来賓から祝辞が述べられた。

枝野幸男経済産業大臣（田中利穂経済産業省北海道経済産業局地域経済部長代読）は、「本日、ここに2012全日本印刷文化典北海道大会が盛大に開催されることを心から慶び申し上げます。わが国の印刷業は情報伝達を担う製品を提供し、国民生活に極めて密接な産業として長い歴史を有している。これは印刷業に

携わる皆様方の今日までの尽力の賜である。印刷業への多大な貢献により本日表彰される方々をはじめ関係者の皆様には、改めて敬意を表する次第である。また一方、デジタル化が進み情報伝達手段が多様化するなか印刷業が担うべき役割も変化が求められている。環境変化への答えは1つではない。顧客の視点に立ち、ニーズを敏感に察知しながら自社の強みは何か、他社に真似のできない事業は何かといった問題意識を持ち続けることが、新しいビジネスを創造するものではないか。こうした例は既に全国各地に生まれている。ここ北海道においても、印刷業で培った高い再現性あるいは豊かな表現力を武器に、ホームページ作成も手がけ、より効果的な販促ツールの組み合わせを顧客に提供している企業があると伺っている。また、北海道ならではのデジタルコンテンツを取り入れた電子出版サービスを始めている企業もあると伺っている。全日本印刷工業組合連合会が組合員各社の経営変革を積極的に後押しされていることを、大変心強く思っている。今年7月に政府が取りまとめた日本再生戦略において日本経済の担い手は中小企業であり、各地の経済、社会の活力向上のためには地域の核となる中小企業が発展、活躍することが重要とされている。私は、小さくてもオンリーワンの魅力を提供する事業者こそが、厳しさを増す国際競争を勝ち抜き、少子高齢化が進む日本経済の活力を担っていくものと確信をしている。経済産業省としても、今年発足した小さな企業未来会議を中心に貴連合会の多くを占める中小企業を対象とした資金繰りや雇用面での支援、あるいは海外展開への支援、これらを通じて業界の皆様に少しでも力添えできればと願っている。最後に、このたび、業界に対するな多大なる功績により表彰を受けられる方々に、心から敬意を表するとともに、全日本印刷工業組合連合会と会員各社ならびに本日参集の

皆様の健勝と発展を祈念する」と述べた。

高橋はるみ北海道知事（高田久北海道総合政策部知事室長代読）は、「本日、2012全日本印刷文化典がここ北海道において盛大に開催されることを心からお祝い申し上げます。また全国から来道の皆様を歓迎する。印刷業界に携わっている皆様には、地域経済において重要な役割を担われるとともに、印刷物や出版物の提供を通じて、生活文化の向上にも大きく貢献されていることに深い敬意を表す。わが国経済は依然として厳しい状況にあるが、印刷業界におかれては、リーマンショック以降の需要の減少や、消費者ニーズの多様化への対応と同時に、情報産業の中核として、今後発展飛躍していくための進化が求められている。こうした中、関係の皆様が一堂に会し、“北の大地から始まる、ソリューション・プロバイダーへの道”をテーマに本大会が開催されることは、誠に意義深く、本日の大会が大きな成果を収められ印刷産業の活性化に繋がっていくよう期待している。参加の皆様は、北海道の秋の自然と旬の味覚を満喫され、本大会の成果に北海道の感動を添えていただくようお願いしている。本大会の成功と印刷業界のますますの発展ならびに関係の皆様方の活躍を祈る」と述べた。

上田文雄札幌市長（秋元克広副市長代読）は、「全日本印刷文化典北海道大会がこのように盛大に開催されることを心からお祝い申し上げますとともに、15年振りに札幌で開催ということで、全国各地からお越しの皆様を心から歓迎申し上げます。これまでの印刷産業への発展の功績により、本日は表彰を受けられる方々に対して、心から敬意を表するとともにお祝いを申し上げます。札幌市において、印刷業は製造品出荷額で全体の17%を占めており、札幌の製造業の中では食料品製造業に次ぐ基幹産業になっている。コンピュータ技術の進展等で、インターネットなどの活用、あるいは地球環境への配慮など印刷業界を取り巻く環境の変化に対し、並々ならぬ努力をされていることに改めて敬意を表す。印刷物やカタログ、パンフレットなど、こういった印刷物の持つ特性を活かした情報伝達というものは、今後とも重要であると思うので、皆様方の活躍を心から期待申し上げます。今年は札幌でも本当に異常といえる暑さであったが、漸く昨日あたりから、北海道らしい爽やかな気候になった。天も皆様方を歓迎してのことだろうと思う。現在、札幌の中心部にある大通公園では、北海道の味覚を楽しんでもら



う札幌オータムフェスト2012が開催されている。ここでは北海道各地を代表する自慢のグルメ、スイーツ、道産ワイン、日本酒など、北海道をまるごと楽しめる機会となっている。是非この機会に北海道の味覚を堪能してもらえれば幸いである。もちろん、その会場へ来る皆様方への情報伝達手段としては、印刷物が非常に大きな情報媒体として活躍している。全日本印刷工業組合連合会のますますの発展、本日参会の皆様方の健勝、活躍を心から祈る」と述べた。

つづいて、表彰が行われ、印刷産業発達功労者として、水上光啓氏（東京都）、西井幾雄氏（大阪府）、今野敦之氏（宮城県）の3人と組合功労者71人（北海道からは浜中正治氏が受賞）、優良従業員77人を表彰した。

受賞者を代表して、水上光啓氏から「本日このような素晴らしい記念式典で、全日本印刷工業組合連合会の表彰の栄誉を受けるということ、私たち受賞者一同、大変身に余る光栄である。皆さんに感謝を申し上げます。日頃から私たち一同、印刷産業の



受賞者代表謝辞を述べる
水上光啓氏

発展とそして向上のために、皆様とともに微力ではあるが、力を尽くしてきたつもりである。はからずも本日、このような素晴らしい賞を受賞することができた。これは決して、私たちの力だけではないと思う。皆様の力があって、皆様の手助けがあって、皆様の心からの支援と鞭撻があって、初めて受賞できたものだと思う。改めてここにいる皆様全員に感謝申し上げます。印刷業界は今、大きな転換点を迎えている。いうまでもなく従来の価値観が通用しなくなりました。新しい価値感を求めなくてはならない。しかし、

そのような変化の中でも、変わらないこともあるということ、是非1つ皆さんに話したいと思う。印刷の基本的な機能というのは、情報を伝えることである。いろいろな情報がその中にある。確かにデータだとか数値だとか文字を伝えるというようなものは、情報伝達の手段として、ネットに敵わなくなってしまうかも知れない。しかし、皆さん、情報の情という字は取えてルビを振るとすると、“こころ”とルビが振れる。情報というものの一番深いところは、心を伝えるビジネスであるとは私は思っている。この心を伝えることはネットにはできない。心を伝えるということは、私たち印刷産業しかできない。我々は、心を伝える機能を持った素晴らしい産業であることに自信を持って前進をしていきたいと思っている。本日受賞した皆様方は、既に印刷の各分野で、それぞれの役割を担ってきた。本日の受賞を糧にして、そして社会の一翼を担う。我々は、そのような自信を持って、それを手助けしていく印刷産業に携わること、その誇りと喜びを胸に刻んで、さら



文化典宣言を朗読する大和繁樹青年部事業委員長

に印刷産業発展のために努力を重ねていきたいと思う。重ねて、皆様の指導をよろしくお願い申し上げます」と謝辞が述べられた。

つづいて、大和繁樹北印工組青年部事業委員長から文化典宣言が提案され、満場の賛成で採択され、記念式典を終了した。

印刷文化典宣言

印刷業界を取り巻く社会環境、経済環境、情報環境は大きく変化しつつある。

同時に我々に求められる役割も様変わりしてきている。

変化に機敏かつ的確に対応し、ビジネスの価値をより一層高めていくことが求められている。

変化への対策として、前回の文化典で「産業成長戦略提言2010」を発表し、ソリューション・プロバイダーへの進化を提起し、理解を深めてきた。

我々印刷産業人は、開拓者の魂が根付く北海道において、新しいビジネススタイルを探求する「北の大地から始まる、ソリューション・プロバイダーへの道」のテーマのもと、英知と情熱を結集し、研鑽を重ね、ソリューション・プロバイダーとしての使命を追求していく。

企業の社会的責任を全うし、有益な印刷製品・サービスを供給し、国民生活および文化を支える産業として、社会に貢献することを宣言する。

平成24年9月21日

2012全日本印刷文化典北海道大会

2012全日本印刷文化典北海道大会記念パーティ

2012全日本印刷文化典北海道大会記念パーティが、9月21日午後6時30分から札幌パークホテル・パークホールで、全国から600人の印刷産業人が参加して開催され、親睦と交流を深め、次回、2014年は京都での再会を誓った。

記念パーティは、平岸天神チームによる「よさこいソーラン」のオープニング演舞で開会し、岡部康彦実行委員長が、56人のコンパニオンを従えて登壇し、「全日本印刷文化典北海道大会、15年振りの開催である。15年前、当時、理事長は木野口さんであった。私はその頃、誘導係をしていた。そして今、実行委員長である。いいですね実行委員長は。これだけ美女に囲まれて、男冥利に尽きるというのでしょうか。皆様のテーブルの上に毛蟹とたらば蟹、山積とまでは行かないかも知れないが出してある。味は甘いし、とても美味しいと思う。まずそれを食べてもらい、それからウニなども出す。2年前、岐阜の大会で私は皆様方に約束をした。是非、北海道に来てください。蟹、蝦、ウニ、ホタテ、イクラ、じゃがいも、とうきびを用意してお待ちしている。北海道の岡部は嘘をつきません。今日の料理はそのとおりに出す。是非、美味しい料理を堪能していただけたらと思う。そして終了後は、行くなと言っても行くでしょう。ススキノ方面に足を運ぶと思う。大いに散財していただければ札幌経済に役立つ」と歓迎のあいさつを述べた。



祝辞を述べる
尾池一仁道中央会会長

来賓紹介に続き、尾池一仁北海道中小企業団体中央会会長から、「2012全日本印刷文化典北海道大会が全国各地より大勢の会員の皆様が参集され、盛会に開催されたことを、先ずもってお慶び申し上げます。北海道は今、大変素晴らしい季節である。

そのような季節に、このように皆さんをお迎えることを大変幸せに存じている。先ほどの式典においては、長年にわたる印刷業界に対する貢献が認められ、表彰を受けられました皆さんに、改めて心よりのお慶びと、深甚なる敬意を表す。日本経済はもとより、



男冥利に尽きる岡部実行委員長

私ども中小企業を取り巻く環境は、大変厳しい状況にある。皆様方におかれては、先程の式典で宣言された決議をもととして、連合会の団結と絆をもって、この難局を乗り切っていくことを期待する」と祝辞が述べられた。

次に、喜多龍一北海道議会議長が、「初秋といっても、昨日まで蒸し暑かった。一体、北海道はどうなったという、こんな感じであったが、秋らしい北海道へようこそお出でくださった。来て見てびっくりしたが、こんなに大盛会、本当に全国から心一つに



乾杯を行う
喜多龍一議会議長

して、業界の皆さん方が一堂に会された。心からお祝いを申し上げる。昨日の報道で、北海道弁で言うところの「たまげた」びっくりした報道があった。一昨日、イタリアの学会でアメリカの学者が発表した。4世紀というから、紀元後300年代だと思いが、その古文書が発見されて、そこに『イエスキリストに妻がいた可能性がある』と窺わせる資料が、証明されたわけではないが、こんな話であった。2,000年の時を超えて、本当にロマンに溢れた話題である。私はそのようなことを



2014年は京都で会いましょう

考えて見ると、人類というのは、記録することによって情報を共有し、そして後世に伝承してきた。そして印刷ということで、正に人類の革命的な進化が遂げられてきて今日あるといつも思う。今、時代はデジタル社会ということで、新たな変革を遂げつつあるが、今日、ソリューション・プロバイダーへの道ということが1つ大きなスローガンである。これからこういうことで行くぞというスローガンを業界の皆さんが掲げられて明日から邁進するということであるが、何時の時代でも皆さん方業界の役割というものは顧客の成功を皆さんのエリアでサポートしてきたという役割に変わらない。ソリューションも変わらない。こんなことで非常にこれからの皆さん方の未来は、輝かしい未来を予感し期待する。業界の皆さん方のますますの発展、進化を遂げられるように、そして、それを支える皆さん方一人一人の企業の発展を心から祈念申し上げます」と述べ、乾杯し開宴した。

会食と懇談が続くなか、北海道日本ハムファイターズガールによるダンスショーが行われ、会場のボルテージが一気に盛り上がった。

懇談が続くなか、次回の開催地である瀧本正明京都府印刷工業組合理事長をはじめ、京都府印刷工業組合、近畿地区印刷協議会のメンバー、全印工連新旧会長、秋田県工組理事長が登壇し、2014年の京都大会のピーアールを行った。

瀧本理事長は、「2年後の京都の開催、よろしく頼みますと言いたいが、札幌大会のように盛り上がる懇親会ができたら嬉しい。京都は、販促EXPOといって、今までにない、全国でいろいろなかたちで、業界で頑張っている皆様のコラボレーションをしたいと思います。そのためにもいろいろな知恵や工夫を使って印刷業界を盛り上げていきたいと思う。たくさんの

皆様のお越しをお待ちしている。今回、バーチャルやビデオレターの舞妓もでたが、当日には全員が手をつないで遊べるような大勢の舞妓を用意している。北海道にも負けないような京料理を用意しているので、楽しみに大勢の皆様が手をつないで来てほしい。そこで応援に駆けつけていただいた、前会長、今回会長、副会長、全員が皆さんをお待ちしている。よろしくお頼み申します」と挨拶した。

懇談が続くなか、板倉清記念パーティ委員長（北印工組副理事長）が、「料理にお酒に、そして全国の皆様とお楽しみいただきましたでしょうか。この大会を機に来道いただいた多くの皆様がいる。また、初めて北海道に来られた方もいると思う。遠路はるばる本当にありがとうございました。今年

中締め挨拶を述べる
板倉清記念パーティ委員長

の北海道は、先程も話にでていたが、暑い夏であった。ここに来て漸く北海道らしい爽やかな季節を迎えた。この爽やかな季節のなか、北の大地で全日本印刷文化典北海道大会を開催されたことは、私たちスタッフにとっても誇りである。この大会に際して、いろいろな方にいろいろとお世話になり、いろいろな方に参集賜りまして誠にありがとうございました。心より厚くお礼申し上げます。お蔭様でこのような盛大なパーティを開かせていただくことができた。重ね重ねお礼申し上げます。南は沖縄、九州地区から、他の都府県から多数、出席いただいている。本当ありがとうございます。ありがとうございますを、何度言っても足りないくらいである。先ほど京都の皆さんから案内のあったように2年後京都でこの大会が行われる。皆様の机にもチラシがあったと思うが、2年後京都で、新たな将来に向けたテーマで大会が行われることになっている。皆さんには是非参加いただきますようお願いしたい。最後に、全国の皆様に2つお願いがある。1つはファイターズガールが私たちを応援してくれたように、今年はファイターズに優勝させてください。もう1つ、この後、ススキノに全員でお出かけ願いたい」と述べ、三本で締め、記念パーティを終了した。

2012全日本印刷文化典北海道大会 記念講演

鈴木夕張市長が講演 やらなければゼロ!新たな可能性を創造するまちへ!

2012全日本印刷文化典北海道大会記念講演が、9月21日午後4時30分から札幌パークホテル・エメラルドで、講師に夕張市長の鈴木直道氏を迎え、「やらなければゼロ!新たな可能性を創造するまちへ!」をテーマに、当時30歳の若さで市長に就任し、財政再建団体として事実上破綻した夕張市での地域再生への取り組みについて講演を行った。



鈴木直道夕張市長

鈴木市長は、埼玉県の出身で、東京都の職員であり、夕張市とは縁もゆかりもなかったが、夕張市が財政破綻を受け、東京都から派遣され2年2ヵ月、夕張市の市民課に勤務した。

その後、東京に戻り、今度は東京都知事本局総務部から内閣府地域主権戦

略室に出向していた。その時に、夕張市長選出馬の誘いを受けた。自身の結婚や生活の問題など悩みもあったが、出馬を決意する。

出馬を促したのは政党関係者ではなく、夕張市勤務時に関わりの持った30歳前後の地元の若人であり、その熱意に押され決心し、石原東京都知事の応援を得て、平成23年に対立候補3人に打ち勝ち当選し、当時30歳と全国で一番若い市長として就任した。

炭鉱町であった夕張市はエネルギー政策の転換で閉山が相次ぎ、人口減少に陥った。

夕張市は炭鉱会社が整備した病院、住宅、上下水道設備などの資産を買い取り、借金が増大し、「炭鉱から観光」へと掲げ、全国的にも注目された観光事業も失敗し、身の丈以上の借金を抱えて財政破綻した。

鈴木市長は、人口減少、少子高齢化、財政難を50年後の日本の縮図捉えていて、人件費をはじめとする経費の削減だけでなく、新しいことを創造することが必要と企画部門を新設し、市民との対話を図り、東京都とも連携して企業誘致を図るなど再生に取り組んでいる。

夕張市の現在残っている借金は325億円で、これを



17年間で完済する予定。

鈴木市長は、後ろ向きに考えて借金を返すだけでなく、前向きに考えて人口減少、少子高齢化、財政難を国、北海道との三者で協議し、財政再建、地域再生に向けた課題の整理と対応策の検討を国民に示しながら進めているとし、夕張市の破綻が材料となり、議論を通して1つでも2つでも他地区にモデルを示すことが夕張の役割とした。

夕張市は、日本一の桜の名所を目指して、毎年植樹を行い、2030年までに4万本を植樹する計画である。

2012全日本印刷文化典北海道大会記念ゴルフ大会

水落 充氏(甲南堂印刷(株)・兵庫県)が優勝

2012全日本印刷文化典北海道大会記念ゴルフ大会が、9月20日、午前7時から、札幌ゴルフ倶楽部輪厚コースで、全国から68人が参加して開催された。

記念ゴルフ大会は、開会式、記念撮影の後、島村全印工連会長と岡部北印工組理事長により始球式が行われ、アウト、イン両コースからスタートした。

午後1時30分から同コース倶楽部ハウスで表彰式が行われ、豪華賞品が贈られた。

上位入賞者は次のとおり。



全国から68人が参加

- | | |
|--------|---------------------------|
| 優勝 | 水落 充 (株)甲南堂印刷・兵庫県) |
| 準優勝 | 上野裕之 (共同印刷機材(株)・北海道) |
| 3位 | 加藤順孝 (阿部綜合印刷(株)・北海道) |
| 4位 | 北脇健二 (株)キコー興業・北海道) |
| 5位 | 守田敏治 (北海道紙器段ボール箱工業組合・北海道) |
| 6位 | 佐藤隆寛 (アオヤギ(株)・福岡県) |
| 7位 | 茂谷浩司 (有)モタニ印刷・鹿児島県) |
| 8位 | 速水 敦 (T&K TOKA・埼玉県) |
| 9位 | 相原博之 (アオヤギ(株)・福岡県) |
| 10位 | 細井俊男 (新日本印刷(株)・愛知県) |
| ベストグロ賞 | 相原博之 (アオヤギ(株)・福岡県) グロス78 |

全印工連組合功労者顕彰おめでとうございます。



2012全日本印刷文化典北海道大会記念式典が、9月21日に札幌パークホテルで開催され、その席上、業界の指導・育成に尽力し、振興発展に大きく貢献された方々を組合功労者として、全日本印刷工業組合連合会会長顕彰が行われ、北海道から浜中正治が栄えある顕彰を受けられました。

浜中正治氏

北海道印刷工業組合理事・函館支部長／ハコー印刷株式会社代表取締役 [函館支部]

全印工連優良従業員表彰おめでとうございます。

平成24年度の全日本印刷工業組合連合会の優良従業員表彰が、9月21日に札幌パークホテルで開催された2012全日本印刷文化典北海道大会記念式典で行われ、北海道から3名の方々が栄えある表彰を受けられました。 [札幌支部]

木島克美(株式会社正文舎)、大波喜知生(株式会社ヒロミ産業)、室田芳幸(北陽ビジネスフォーム株式会社)

胆管がん発症問題に関連する 印刷業界の労働安全衛生への取り組み

島村全印工連会長が声明発表

2012全日本印刷文化典北海道大会において、島村全印工連会長は、胆管がん発症問題に関連する印刷業界の労働安全衛生への取り組みについて声明を発表した。

平成 24 年 9 月 21 日

組合員の皆様へ

全日本印刷工業組合連合会
会 長 島 村 博 之

本年 5 月に胆管がんの報道がなされ、現在、印刷業界の労働環境および安全衛生の管理が注目されています。

全印工連では、これまで職場の労働環境改善に向けて、有機溶剤中毒の予防と対策、有機溶剤および特定化学物質等作業主任者の選任、さらにグリーンプリンティング認定制度など、環境経営という視点から積極的な周知・啓発を行ってまいりましたが、今回このような事態が生じたことは、誠に残念であり、組合員をはじめ真剣に取り組んできた方々には、無念でならないと思います。

今、私たちにできることは、この問題を契機とし、より安全性の高い洗浄剤への切り替え、法律に基づく適切な労働衛生管理の徹底など、組合員各社が職場の労働環境の改善に努め、地域、顧客、社員などに対して広く「安全である」ことを宣言することです。そのためには日印産連のグリーンプリンティング認定を取得することが有効な一つ的手段と考えます。

当連合会では、厚生労働省や経済産業省が参画する日印産連・労働衛生協議会に積極的に協力して、再発防止に向けた職場環境の改善に関する啓発や印刷業界の信頼回復に努めてまいりますが、是非、組合員の皆様が「今できること」を積極的に進めていただきますよう、よろしく願いいたします。

印刷事業所における 労働安全衛生対策セミナー開催

(社)日本印刷産業連合会主催、北海道印刷工業組合主管の「印刷業事業所における労働安全衛生対策セミナー」が、8月8日午後2時から札幌市中央区のかでる2・7で80余名が参加して開催された。

(社)日本印刷産業連合会は、大阪の校正印刷会社従業員の胆管がん発症問題を受け、予防的観点から健康障害防止対策の周知を行ってきたが、さらなる周知を図るため全国7都市で労働安全セミナーを開催した。

札幌会場のセミナーは、主管した北海道印刷工業組合の板倉清副理事長が、「大阪で校正印刷会社の従業員が胆管がんを発症し死亡した問題は、社会的な耳目を集めており、印刷業界に多大な影響を与えている。印刷業界では、日印産連を中心に会員団体を通じ、全組合員に『印刷業における化学物質による健康障害防止対策』の周知を図っている。そのなかで、日印産連では、なお一層、予防的観点の意味合いから、こうした影響の低減、払拭と印刷産業に従事する方々の健康障害防止を目的として、今日の『印刷事業所における労働安全衛生対策セミナー』を全国7都市で開催することになった。未だ、報道されている化学物質と胆管がんの因果関係は、はっきりしていないが、日頃から職場環境の整備や労働衛生に努めているとは思いますが、今一度、見直し、点検の意味でも今日のセミナーは有意義と思われる」と開催のあいさつを述べた。

続いて、佐藤尚北海道労働局労働基準部健康課長からあいさつと行政として取り組みについて説明が行



われた。

セミナーは、最初に殖栗正雄(社)日本印刷産業連合会業務推進部副部長から日印産連が行った「各事業所内での化学物質の取扱いに関するアンケート」集計結果の概要が説明された。

次に、青柳幹治中央労働災害防止協会労働衛生調査分析センター上席専門役から「化学物質に係る健康障害防止対策のあり方」について、労働衛生コンサルタントの岡田賢造氏から「印刷職場における労働衛生管理」について、それぞれ説明が行われた。

このなかで岡田氏は、胆管がんの原因物質とされている「ジクロロメタン」が人体に及ぼす影響や、水よりも蒸発のスピードが速いことを説明し、しっかりとした換気装置を取りつけることが大切と訴えた。

北海道印刷工業組合 メールマガジン配信登録受付中

メールマガジンの配信希望は、北海道印刷工業組合のHPから申込受付を行っています。

[URL]

<http://www.print.or.jp>

北海道最低賃金改定

平成24年10月18日改定

北海道内で事業を営む全産業の使用者及びその事業場で働くすべての労働者（臨時、パートタイマー、アルバイト等を含む）に適用される北海道最低賃金（地域別）が、次のとおり改定される。

最低賃金額：時間額719円

効力発生日：平成24年10月18日

○最低賃金には、精皆勤手当、通勤手当、家族手当、臨時に支払われる賃金および時間外等割増賃金は算入されない。

○最低賃金額以上の賃金を支払わない場合は、最低賃金法違反として処罰されることがある。

業 界 の う ご き

◆富士フィルムグラフィックシステムズ(株)が富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ(株)としてスタート、北海道支店長に和気章浩氏

富士フィルムグラフィックシステムズ株式会社は、10月1日から、富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ株式会社としてスタートした。北海道支店（札幌市中央区大通西6丁目 富士フィルム札幌ビル）は、磯崎光広支店長が本社へ転勤され、新しく支店長に和気章浩氏が就任した。

◆(株)東和プリント社長の長男・斉藤満生氏が結婚

株式会社東和プリント（札幌市中央区北6条西14丁目1番1号）代表取締役斉藤達生氏の長男 満生さんが、川村始様長女 仁美さんと、9月16日札幌市中央区のホテルモンレーエーデルホフ札幌で結婚式を挙げた。

お悔やみ

中村正一 氏（中村印刷株式会社取締役会長、北海道印刷工業組合相談役、旭川支部）は、かねてより入院加療中のところ9月24日にご逝去されました。87歳。通夜は、9月25日午後6時から、葬儀は26日午前9時30分から、いずれも旭川ベルコ会館でしめやかに執り行われました。

2012全日本印刷文化典北海道大会



記念ゴルフ大会で優勝した水落兵庫県工組理事長（左）



記念パーティのオープニングを飾った岸平天神チームのよさこいソーラン



記念パーティを盛り上げた「北海道日本ハムファイターズガール」



印刷産業発達功労者顕彰を受賞した今野氏（左）、水上氏（中）、西井氏（右）



鈴木タ張市長へ感謝の花束贈呈



盛り上がった記念パーティ



庄巻だった岡部実行委員長の記念パーティでの歓迎あいさつ



小樽観光を楽しんだエキスカッション